

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>大臣官房</b>					
1	官房総務課	8月17日～8月28日(第五期)	2名 (1期で2名)	<p>官房総務課は外務省の所掌事務に関する総合調整を行っており、外務省がその使命をよりよく果たすための組織づくりに日々取り組んでいます。外務省の組織マネジメントや行政と立法府の関係などに関心がある方にぜひご参加いただければ幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外務省における生成AI活用</li> <li>●国会関連業務</li> <li>●省内ウェビナーの企画・運営</li> </ul> <p>などの業務をお願いしたいと考えていますが、学生の関心や専門に合わせて実習の内容は柔軟に調整させていただく予定でおります。</p> <p>その他、関心に合わせて、各政策部局を紹介し、外交の現場に足を運ぶ機会も積極的に設けていきたいと考えています。</p>	-
2	情報システム総括課	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く	2名	<p>情報システム総括課は、明治時代から現代に至るまで、本省と在外公館(大使館・総領事館等)間の情報のやり取りを24時間365日、絶えず安全に支え続ける部署です。令和の現代においては、デジタル技術の発展とともにサイバー空間における安全性の維持・確保が一層難しくなっており、当課が受け持つサイバーセキュリティ、AIを含むデジタルツールの安全な利活用のほか、在外公館との間の物流、他府省庁との連携などはいずれも不可欠です。上記に関し、実務への関わりと多様な研修・見学を通じて理解することを目的として、以下の実習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●業務内容説明: 情報システム総括課の業務概要に関する研修。</li> <li>●研修資料作成: 省内サイバーセキュリティ啓発資料の作成・更新。</li> <li>●業務合理化推進: 省内申請業務の合理化支援。</li> <li>●実務体験: 在外公館への物品の発送体験。</li> <li>●意見交換: デジタル庁への訪問と意見交換。</li> <li>●施設見学: 外務省研修所内の情報通信資料室の見学(1日。)</li> </ul>	<p>理系の学士(卒業見込みを含む)で、以下のいずれかに興味・関心のある方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報システムの整備・管理</li> <li>○サイバーセキュリティ</li> <li>○AI・デジタル技術</li> </ul>
3	在外公館課 営繕室	7月13日～7月17日(第二期) 8月3日～8月7日(第四期) 8月31日～9月4日(第七期) 9月7日～9月11日(第八期) ※実習期間は各1週間とする。	8名 (各期2名ずつ)	<p>我が国の在外公館(注: 海外に所在する大使館、総領事館等の総称)の施設整備や施設管理を担う部署において、その実務の一部に関わりながら、在外公館施設についての調査や課題研究等を通じて、在外公館施設整備・管理業務の役割等を理解することを目的として以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●在外公館施設の特異性を考慮した建築及び設備計画・デザインに関する提案。</li> <li>●建設中の在外公館施設のオンライン現場視察、設計会議等への同席。</li> <li>●上記実習内容に関するプレゼンテーション・発表。</li> <li>●職員との座談会。</li> <li>●外務省内施設の見学。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築やモノ造りに関心が高く、外国や海外勤務に興味がある方。</li> <li>○建築系、電気系、機械系の学部、学科に所属する工学系、理系の学生に限る。</li> <li>○表計算、文書作成、プレゼンテーションに必要なアプリケーションソフト等、基礎的なパソコンスキルを有している方。</li> </ul>

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>外務報道官・広報文化組織</b>					
4	広報文化外交戦略課	7月6日～7月17日(第一期) 7月21日～7月31日(第三期)	4名 (各期2名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パブリック・ディプロマシーに係る業務補佐。</li> <li>●認知戦に係る業務補佐、調査・分析。</li> <li>●ウェブコンテンツに関する企画・立案。</li> <li>●各国政府・機関の広報に関する調査・分析。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一定の英語力を有すること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul>
5	国内広報室	7月21日～7月31日(第三期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏休み期間中(7月22日・23日(予定)、7月29日・30日)に実施される「こども霞が関見学デー(こどもたちに政府の施策に対する理解を深めてもらうこと等を目的とした事業)」の外務省主催行事の事前準備及び当日の対応。</li> <li>●外務省HP上の国内広報ページ(「わかる!国際情勢」、世界一周「何でもレポート」)、こども向け動画(キッズ外務省内)及び「学生と語る」Instagramの企画、改善提案等。</li> <li>●外務省の各種パンフレット、講演資料ひな形デザインについての改善提案。</li> <li>●その他国内広報室業務に係る補助。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報に関心があり、コンテンツ案につき提案するため創造的な方が望ましい。</li> <li>○「こども霞が関見学デー」は、多くの一般市民が来庁し、複数の関係課室・機関と協力して実施するイベントであるため、人とコミュニケーションをとるのが好きで、積極的に人との関わりが持てる方が望ましい。</li> <li>○オンライン 講演プログラムもあることから、Office(メール、Teams、Word、PowerPoint)、オンライン会議ツール(Zoom)の基本操作が行えることが望ましい。</li> </ul>
6	戦略発信推進室	8月24日～9月4日(第六期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNS発信に関する業務補助</li> <li>●各国政府等の発信に関する調査・分析</li> <li>●その他発信戦略の企画・立案補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●WordやExcel、Power Point等の基本的な操作ができること。</li> <li>●ソーシャルメディア等による発信に関心がある方。</li> </ul>
7	国際文化協力室	9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユネスコ(国連教育科学文化機関)、国際連合大学等に関する業務(HP更新等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一定の英語力を有すること。</li> <li>○広報文化外交への興味を有していること。</li> </ul>

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>総合外交政策局</b>					
9	政策企画室	9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対外発信に関する業務(国際情勢認識と日本外交に関する各種講演用資料の編集、外交青書に関する業務)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際関係に関する基本的な知識。</li> <li>○ Microsoft Office や PowerPoint など初級程度の技能。</li> <li>○ 大学生レベルの英語力。</li> </ul>
10	国際安全・治安対策協力室①	7月6日～7月17日(第一期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 制裁関連を含む各種業務補助。</li> <li>● 資料作成、外務省HPの更新等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一定程度の英語力を有していること。</li> <li>○ 国際的なテロ対策・組織犯罪対策に関心がある方。</li> </ul>
11	国際安全・治安対策協力室②	9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テロ対策特殊装備展の出展準備。</li> <li>● 資料作成、外務省HPの更新等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一定程度の英語力を有していること。</li> <li>○ 国際的なテロ対策・組織犯罪対策に関心がある方。</li> </ul>
12	宇宙・海洋安全保障政策室	下記のうち、1クール 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各国の海洋・宇宙政策に関する調査、資料作成等。</li> <li>● その他、宇宙・海洋安全保障政策室の所掌事務の補助(外務省HPの改定作業等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○ 一定の英語力を有すること。</li> </ul>
13	安全保障協力課	9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OSA(政府安全保障能力強化支援)に関する情報収集、資料作成、調査・研究。</li> <li>● 各国の安全保障協力制度に関する資料作成。</li> <li>● 安全保障協力課の所掌業務の補助(SNSを通じた作成・発信等の広報業務を含む)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ OSA(政府安全保障能力強化支援)に関心を有していること。</li> <li>○ PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○ 一定の英語力を有すること。</li> </ul>
14	国連課	下記のうち、1クール 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 我が国及び各国の国連政策に関する業務、調査、資料作成等。</li> <li>● 日本の国連加盟70周年に係る発信に関する業務。</li> <li>● その他、国連課の所掌事務の補助。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○ 一定の英語力を有すること。</li> <li>○ 国連に関心を有していること。</li> </ul>
15	国連政策室、国連制裁室、 国際和平調停ユニット	下記のうち、2クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	4名 (各期2名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国連関連業務(国際の平和と安全、制裁、和平調停などに関する、サブスタンス、ロジスティクス、調査研究など)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語での業務遂行能力。</li> <li>○ 明るく楽しく積極的に取り組む姿勢。</li> <li>○ 周囲との効果的なコミュニケーション・調整能力。</li> </ul>
16	人権人道課	下記のうち、1クール 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人権・人道に関する業務(人権理事会におけるステートメント起案、人権諸条約に関する業務)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法律・人権分野の高度な知見や関心を有していること。</li> <li>○ 一定の英語力を有すること。</li> <li>○ PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul>

# 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>軍縮不拡散・科学部</b>					
17	軍備管理軍縮課	下記のうち、1クール 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●軍縮・軍備管理に関する情報収集、資料作成、調査・研究。</li> <li>●軍備管理軍縮課の所掌業務の補助(HP更新等の広報業務、会議のロジ支援を含む)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○一定の英語力(特に読解力)を有すること。</li> <li>○軍縮・軍備管理や安全保障に関心を有していること。</li> </ul>
18	不拡散・科学原子力課	下記のうち、1クール 7月27日～8月7日(第四期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不拡散分野に関連する国際会合等の準備や対応に関する業務。</li> <li>●不拡散分野に関連する公開情報を用いた調査及び資料の作成。</li> <li>※調査テーマはインターン生の関心を踏まえて相談。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不拡散・軍備管理・軍縮への関心を有していること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul>
19	国際原子力協力室	下記のうち、1クール 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各国における原子力事情の調査・分析・資料作成。</li> <li>●外務省HPIにおける原子力の平和的利用や国際原子力機関(IAEA)との連携に係る新規ページの企画・制作等々。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原子力の平和的利用に関する外交に関心を有すること。</li> <li>○一定程度の英語力(特に読解力)を有すること。</li> <li>○ワード・エクセル・パワーポイントを使った資料作成ができること。</li> </ul>
<b>アジア・大洋州局</b>					
20	地域政策参事官室	8月17日～8月28日(第五期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日ASEAN関係やASEANの政策に関する調査、研究、情報収集、及び資料作成。</li> <li>●APPU総会における現場対応支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Word、Excel、PowerPointを用いた資料作成ができること。</li> <li>○英語での調査、資料作成を行うための英語力。</li> </ul>
21	大洋州課	下記のうち、2クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豪州・NZ及び太平洋島嶼国に対する外交政策の企画・立案補佐(調査・研究、情報収集等を含む)。</li> <li>●受入れ期間中に国際会議・会談や要人往来等が発生した場合はその補佐業務。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国外交及び太平洋地域への関心を有していること。</li> </ul>
<b>南部アジア部</b>					
22	南東アジア第二課	下記のうち、1クール 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東南アジア島嶼部の国々(インドネシア、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、東ティモール)の外交政策に関する情報収集。</li> <li>●上記に基づく資料作成。</li> <li>●その他外交日程や地域情勢の変化を踏まえた業務等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国外交及び東南アジアへの関心があること。</li> </ul>
23	南西アジア課	下記のうち、1クール 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国の対南西アジア(バングラデシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、スリランカ)外交政策に関する調査、研究、資料作成及び発表。</li> <li>●要人往来等や電話会談が発生した場合には、その補佐業務(未定)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の対南西アジア外交政策について高い関心を有すること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul>
24	日印経済室	下記のうち、1クール 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国の対インド経済外交政策(重要・新興技術を含む経済安全保障、イノベーション、AI、スタートアップ、エネルギー、CEPA、高速鉄道事業)に関する調査、研究、資料作成及び発表。</li> <li>●日印の経済分野の会議等が発生した場合には、その補佐業務(未定)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日印経済関係及び我が国の対インド外交政策(経済分野)について高い関心を有すること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul>

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>北米局</b>					
25	北米第一課①	下記のうち、1クール 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日米関係や米国内政・外交方針等に関する調査・研究。</li> <li>●日米間の人的交流などにおける各種業務。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日米関係についての関心があることが望ましい。</li> <li>○英語の文書に触れる機会が多いので、英語の読解力がある程度あることが望ましい。</li> </ul>
26	北米第一課②	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2026米国中間選挙(特に連邦議会選挙)に関する調査・研究。</li> <li>●米国の法令等に関する調査・研究。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○米国の政治及び社会への関心があることが望ましい。</li> <li>○英語の読解力が高いことが望ましい。</li> </ul>
<b>中南米局</b>					
27	南米課	下記のうち、2クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSでの対外発信業務。</li> <li>●課内業務の補佐。</li> <li>※上記のほか、本人の希望等により別途の業務を実施することもあり得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対外発信を楽しめること。</li> <li>○動画や画像の編集技術があると望ましい。</li> <li>※応募前に中南米局Xアカウント「こちら米！ (<a href="https://x.com/kochilabe">https://x.com/kochilabe</a>)」をぜひご覧ください。</li> </ul>
<b>欧州局</b>					
28	政策課	下記のうち、1クール 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期)	1名	<p>欧州局政策課において、対欧州外交全般、EU、NATOに関する業務を担当。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●EU、NATO、欧州情勢等に関する研究・調査(我が国の外交政策に資する内容)及び成果物の報告や、日・EU、日NATO関係に関する検討及び発表等の業務。</li> <li>※上記のほか、国際関係・地域情勢の変化や本人の希望等により別途の業務を実施することもあり得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコンの基本的な操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○一定程度の英語力を有していること。</li> </ul>
29	欧州第二課	下記のうち、1クール 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●欧州第二課所掌国に関する調査研究、対外発信、資料作成等。</li> <li>●情勢や日本・第三国との関係などに関するデータの収集・整理・更新。</li> <li>●要人往来等が発生した場合は、その補佐業務。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中・南東欧地域への強い関心。</li> </ul>
30	中東欧バルト室	下記のうち、1クール 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期)	1名	<p>当室所掌国(ウクライナ、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ブルガリア、ルーマニア、モルドバ)に関する調査・資料作成。一例として以下の業務。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウクライナ情勢に関する調査・資料作成。</li> <li>●当室所掌国に関する外務省HPの作成・更新。</li> <li>※上記のほか、本人の希望や情勢によって別途の業務を実施する可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一定の英語力を有すること。</li> </ul>
31	中央アジア・コーカサス室	7月6日～7月17日(第一期) 9月7日～9月18日(第八期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中央アジア・コーカサス地域関連の調査研究、対外発信、資料作成等。</li> <li>●相手国政府との会談、要人往来等が発生した場合は、その補佐業務。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PCの基本的な操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○中央アジア・コーカサス地域に関心を持っていてほしい。</li> </ul>

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>中東アフリカ局</b>					
32	中東第一課	7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中東・北アフリカ諸国のリサーチやデータ収集、報道分析、資料作成等。</li> <li>●国際会議や電話会談、要人往来等が発生した場合には、その補佐業務にも従事してもらうことを予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中東情勢、日本の対中東外交に関心のある方。そうでなくとも、幅広い日本の外交政策に関心を持ち、意欲を持って業務に携わることができる方。</li> <li>○WordやPowerPointを含め、パソコン機器の基本的操作が可能なる方。</li> </ul>
<b>アフリカ部</b>					
33	アフリカ第一課	7月6日～7月17日(第一期) 7月21日～7月31日(第三期) 8月17日～8月28日(第五期)	3名 (各期1名ずつ)	<p>高い人口増加率による若い人口と、豊富な天然資源を有するアフリカは、今後モタイアミツな成長が期待できる大陸として注目を集めています。また、いわゆる「グローバル・サウス」諸国が存在感を高める中で、その大きな一角をなすアフリカ諸国との連携強化は一層重要となっています。アフリカ第一課では、サハラ砂漠以南の西アフリカ・中部アフリカ24か国及びアフリカ連合(AU)との二国間関係を担当している他、1993年以来日本のアフリカ外交の中核的なプラットフォームとして機能しているアフリカ開発会議(TICAD)の実施等も所掌しています。</p> <p>本プログラムでは、アフリカ第一課の一員となり、外務省職員がどのような問題意識で日々の外交業務に向き合っているのか、実際の政策決定プロセスがどのように進められているのかなどを学びます。また、プログラム期間中、与えられたテーマに基づいて調査・研究及び政策立案を行い、最終日にはその成果を課内で発表していただきます。加えて、学生の希望に応じて、関係省員との意見交換の機会も設ける予定です。</p> <p>&lt;実習内容① 対アフリカ文化外交政策の検討&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アフリカにおいて日本への関心を高め、理解と信頼・親近感を深めてもらうためにどのような政策が効果的か、調査を行い、それに基づく政策提言を行う。</li> <li>●提言作成に当たっては、必要に応じて特定の国またはテーマ領域(伝統文化、食、コンテンツ、スポーツ、日本語教育、学術、スタートアップ等)を設定した上で、アフリカ各国・地域の文化的特性・対日認識の分析や日本政府が実施してきた広報文化外交の効果検証を行った上で、調査結果を踏まえた政策立案につなげる。</li> </ul> <p>&lt;実習内容② アフリカに関する日本国内における広報政策の検討&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本国内においてアフリカがどのように認識されているかについて、メディア報道、SNS、教育現場等を対象に調査・分析し、現状認識を整理する。</li> <li>●調査結果を踏まえ、小中高校生、大学生、ビジネス層等ターゲット層別に関心構造を明らかにした上で、効果的な広報施策の方向性を検討する。</li> </ul> <p>&lt;実習内容③ 大湖地域又はサヘル地域情勢に関する情勢分析&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学生の興味関心に応じて対象地域(大湖地域またはサヘル地域)を選定し、政治・治安・経済・国際関係等の観点から多面的に情勢分析を行う。</li> <li>●分析結果を踏まえ、日本の国益を念頭に、日本としてこれらの地域でどのような役割を担うべきかを考察し、外交政策の方向性を検討する。</li> </ul>	<p>実習内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学部生・院生どちらでも可。</li> <li>○アフリカ地域への関心を有していること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul> <p>実習内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学部生・院生どちらでも可。</li> <li>○アフリカ地域への関心を有していること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul> <p>実習内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大学院生推奨。</li> <li>○関連する地域・分野の調査・研究を行っている場合は積極的に考慮する。</li> <li>○外国政府やメディアの報道等を中心とした公開情報の収集・分析を行うための英語力を有すること。なお、フランス語を一定程度理解できるとなお良い。</li> </ul>
34	アフリカ第二課	8月17日～8月28日(第五期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アフリカ第2課所管国(東部・南部アフリカ諸国)に関するリサーチやデータ収集、報道分析、資料作成等。</li> <li>●既存の基本資料(ホームページに掲載されている各国事情等のデータ)の更新。</li> <li>●国際会議や電話会談、要人往来等が発生した場合は、その補佐業務。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アフリカ地域、日本の対アフリカ外交、幅広い日本の外交政策への関心を有していること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○情報収集・資料作成のための基礎的な英語力を有すること。</li> </ul>

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>経済局</b>					
35	資源安全保障室	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	1名	●エネルギー安全保障関連の政策策定等に使うための基礎資料の作成、調査、会合に向けた準備。	○エネルギー安全保障に興味をお持ちの方。 ○ワード、エクセル、パワーポイントの基礎的な知識。基礎的な資料作成能力。 ○英文の新聞、レポート等の読解ができること。
36	漁業室	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く	1名	●国際的な漁業資源管理に関する外交実務の実習(漁業室は捕鯨、漁業両分野で10を超える国際機関との業務に従事しています。) ●水産資源の持続的利用に関する国際会議の準備補佐。 ●その他、国際法、国際関係論、国際漁業政策、広報などの本人の関心の側面から、国際漁業政策に関連する分野の研究・報告書作成。	○国際的な漁業資源管理に関する外交政策への関心。
37	経済連携課	下記のうち、2クール 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	2名 (各期1名ずつ)	●経済連携に関する外交政策の調査・研究及び発表。 (CPTPPをはじめ日本のEPA政策の調査・研究、他国のEPA・FTA政策や国際的な潮流に関する情報収集。) ●投資協定に関する外交政策の調査・研究及び発表(日本とグローバルサウスとの連携や他国の投資協定締結政策に関する調査・研究。) ※研究テーマはインターン生の関心を踏まえて相談の上、決定する。 ●上記に基づく資料作成や既存資料の更新作業等。	-

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>国際協力局</b>					
38	政策課	7月6日～7月17日(第一期) 7月21日～7月31日(第三期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各国のODA広報(報道発表などHPおよびSNS投稿、動画、パンフレット等)についての調査・分析。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ODAおよび広報に関心のある方。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。そのほか、SNS等に関して一定程度の知見がある方が望ましい。</li> <li>○ウェブ等での調査に必要な英語力を有すること。</li> </ul>
39	国別開発協力第一課	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国別開発協力第一課が所掌する地域(東アジア・東南アジア・大洋州)における経済協力の実施等に関する業務の補佐。</li> <li>●上記地域における開発課題・地域情勢に関する調査・分析・資料作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語のウェブサイトを解読できる程度の英語力を有すること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○ODA政策、国際機関、該当地域情勢等への興味・関心を有していること(専門知識は不要)。</li> <li>○業務へ真摯に取り組みたいという意欲・姿勢を有していること。</li> <li>○(あるとなお良し)PowerPointを使用したビジュアル効果の高い資料作成技術。</li> </ul>
40	国別開発協力第二課	下記のうち、1クール 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国別開発協力第二課が所掌する地域(中南米、南西アジア、中央アジア)における経済協力の実施等に関する業務の補佐。</li> <li>●上記地域における開発課題・地域情勢に関する調査・分析・資料作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語のウェブサイトを解読できる程度の英語力を有すること。</li> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> <li>○ODA政策、国際機関、該当地域情勢等への興味・関心を有していること(専門知識は不要)。</li> <li>○業務へ真摯に取り組みたいという意欲・姿勢を有していること。</li> <li>○(あるとなお良し)PowerPointを使用したビジュアル効果の高い資料作成技術。</li> </ul>
41	国別開発協力第三課	下記のうち、2クール 7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期) 8月24日～9月4日(第六期) 8月31日～9月11日(第七期) 9月7日～9月18日(第八期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国別開発協力第三課が所掌する地域(アフリカ・中東・欧州(ウクライナ含む))における経済協力の実施等に関する業務の補佐。</li> <li>●上記地域における開発課題・地域情勢(国際機関の活動状況やプロジェクト内容等を含む)に関する調査・分析・資料作成。 (その他、インターン生の興味・関心に応じて要相談)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記のスキル・関心を有することが望ましい。</li> <li>○英語のウェブサイトを解読できる程度の英語力。</li> <li>○基礎的なパソコンスキル(Microsoft Word、Excel、PowerPoint)。</li> <li>○ODA政策、国際機関、該当地域情勢等への興味・関心(専門知識は不要)。</li> <li>○業務へ真摯に取り組みたいという意欲・姿勢。</li> <li>○(あるとなお良し)Power Pointを使用したビジュアル効果の高い資料作成技術。</li> </ul>
42	開発協力統括官室	8月24日～9月4日(第六期)	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●途上国の債務状況に関する情報収集、資料作成及び分析。</li> <li>●ODA実施及び制度に係る現在の課題及び改善策の提案。</li> <li>●その他開発協力統括官室の所掌業務の補助。</li> <li>●開発協力適正会議(8/25実施)へのオブザーバー参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。</li> </ul>

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>地球規模課題審議官組織</b>					
43	地球規模課題総括課	7月27日～8月7日(第四期) 8月17日～8月28日(第五期)	2名 (各期1名ずつ)	●地球規模課題や国際機関に関する調査及びプレゼン。	○地球規模課題に興味がある方。
44	地球環境課	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期)	1名	●地球環境分野に関する広報資料作成。 ※その他、希望次第で相談可。	○地球規模課題や地球環境分野への関心を有すること。
45	気候変動課	下記のうち、1クール 7月6日～7月17日(第一期) 7月13日～7月24日(第二期)※7月20日を除く 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期)	1名	<p>テーマ: 気候変動外交における我が国の取組の国内外への対外発信に関する戦略構築</p> <p>●気候変動は国際社会全体が取り組むべき重要な課題の一つであり、気候変動を取り巻く世界情勢はここ数年で大きく変化している。そのような中で今年も、国連気候変動枠組条約第31回締約国会議(COP31)等を通じて、今後の気候変動対策に向けた交渉が行われる。 ●外務省気候変動課は、日本政府の気候変動外交政策や取組について、国民に対してわかりやすく、かつ積極的に発信していく必要がある。 ●加えて、国際社会に向けた日本政府の気候変動への取組や気候変動外交への姿勢の発信も引き続き重要な課題である。 ●以上の点を踏まえ、国内外における戦略的対外発信の内容・方法に関する戦略を構築するため、気候変動課においてインターン生を募集する。</p> <p>具体的な業務内容 ●国内向けの広報戦略: わかりやすく日本政府の気候変動外交政策や取組について発信するための企画立案に貢献する。 ●データ収集: 国際社会への情報発信強化に向けた分析と戦略構築に貢献するため、定量的・定性的な基礎データを収集する。 ●調査・分析: 主要国の気候変動外交の情報収集・分析 ●会議のロジ支援: インターンシップ中に開催される会議等のロジ的業務を行う。</p>	○気候変動外交に関心・意欲を持つ方。 ○英語の読解能力がある方。
46	国際保健戦略官室	下記のうち、1クール 7月21日～7月31日(第三期) 7月27日～8月7日(第四期) 8月24日～9月4日(第六期)	1名	●国際保健分野の調査・資料作成。 ●我が国の国際保健分野の取組に関する広報業務(HP更新等)。 ●各種会議への対応に関する支援業務。	○PCの基本的操作が可能であること(Word、Excel、PowerPoint等)。 ○一定の英語力を有すること。

## 令和8年(2026年)度 外務本省 サマープログラム 受入れ課室一覧

番号	課室名	期間 (複数ある場合は、いずれかの期間)	受入れ予定人数	実習内容	備考 (学生に求める学位・資格・技能等)
<b>国際法局</b>					
47	国際法課	8月17日～8月28日(第五期)	1名	<p>世界が歴史の転換点にある中、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化の重要性は従来になく高まっている。国際法課は、国際法局の所掌事務に関する総合調整、国際法に係る外交政策、確立された国際法規の解釈及び実施、政府として処理する必要のある涉外法律事項等を所掌している。国際法の観点から政策部局に法的助言を提供するとともに、国際法分野における内外との連携強化や人材育成に日々取り組んでいる。</p> <p>&lt;具体的な業務内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●政府として処理する必要のある涉外法律事項に関する調査分析作業。</li> <li>●第4回「東京国際法セミナー」の開催に向けた準備作業業務。</li> <li>●その他各種関連業務。</li> </ul>	○日本外交を支えるという仕事への関心・熱意を有していること。
48	条約課	7月21日～7月31日(第三期) 8月31日～9月11日(第七期)	2名 (各期1名ずつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主に安全保障分野の条約の締結・運用や外交文書の作成等に関連する業務。</li> <li>●条約の締結に関する調査、資料作成。</li> <li>●その他条約課所掌業務の補佐。</li> </ul>	○一定の英語読解力を有すること。 ○国際法に関する前提知識は不問。 ○条約の締結・運用を通じた外交実務に関心を有すること。
49	経済条約課	7月21日～7月31日(第三期) 8月17日～8月28日(第五期)	2名 (各期1名ずつ)	<p>経済条約の締結等に関する実務の一端を担うとともに、最近の国際的な動向、関税政策を巡る貿易動向や経済安全保障を含む政策動向、各種国際経済法(WTO協定、EPA、投資協定等)に関連する法的論点について、我が国を含む各国の立場・対応、シンクタンクの提言、国際機関の報告書や学術論文等を参照しながら、調査・研究を行う。</p>	○高度な英語の文書を理解する英語力。 ○法学又は経済学の素養があればなお望ましい。
<b>領事局</b>					
50	海外邦人緊急事態課①	7月6日～7月17日(第一期)	1名	<p>2026年3月に実施した中東地域からの邦人の出国支援に関し、将来の類似事案における対応改善や平素からの領事サービスの品質向上に役立てることを念頭に、支援対象者に対するアンケート調査を設計・実施し、回答を集計して、報告書にとりまとめる。</p>	○自ら調査を設計し、集計して、レポートを作成した経験があることが望ましい。
51	海外邦人緊急事態課②	7月21日～7月31日(第三期)	1名	<p>2026年度外交青書のコラムに記載することを念頭に、当時の省内関係者に聞き取り調査を行った上で、2026年3月に実施した中東地域からの邦人の出国支援に関する記事を執筆する。また、時間が許せば、同時期に諸外国が実施した中東地域からの自国民の出国支援について、実態調査を行い、資料にまとめる。</p>	○聞き取り調査を行った上で、一般公開する平易な文章にまとめる能力があることが望ましい。英語の読解能力があることが望ましい。